

中華まん蒸し器取扱説明書



ホットショーケース・缶、ペットボトルウォーマー・
角蒸し器・中華まん蒸し器レンタル専門店

上州物産 株式会社

〒379-2166



群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

レンタル専門店ホームページへアクセスする
場合はこちらのQRコードを読み込んでくだ
さい。



目次

1.安全のために必ずお読みください	2
2.安全のために必ずお守りください	3～11
3.使用上のご注意	12
4.本体の使用目的	12
5.各部の名称	13
6.本機の使用方法	14～18
7.本機のお手入れ	19～24
8.ご使用にならないとき	25～27
9.本機の保管方法	28～29
10.修理を依頼される前に	30
11.本体の仕様	32
12.中華まん蒸し器梱包方法	33～34
13.PP バンドの使用方法	35

1. 安全のために必ずお読みください

ここでは、お客様が「中華まんじゅう蒸し器」を安全にご使用いただき、事故を回避するためにあげた注意事項の読み方を説明しています。

ご使用になる前に、必ずこの項目をよくお読みいただき、事故のないように正しくご使用ください。

○ 危険表記の説明

本取扱説明書では注意事項を記載する上で、その危険の程度から「警告」および「注意」の2つの段階に分けています。

 **警告** この表記を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷など、人体への重大な損傷が起きる可能性がある内容を示しています。

 **注意** この表記を無視して誤った取扱いをすると、軽傷または中程度以上の損傷を負う可能性がある内容および他製品の破損が想定される内容を示しています。

○ 記号の説明

本取扱説明書では以下の記号を使用しています。

 注意・警告の通告を示しています。

 「発火する恐れがあります」といった内容を示しています。

 「感電する恐れがあります」といった内容を示しています。

 「破裂する恐れがあります」といった内容を示しています。

 「高温による障害の恐れがあります」といった内容を示しています。

 一般的な行動指示を示しています。

 「必ずアース線を接続してください」といった内容を示しています。

 「電源プラグをコンセントから抜いてください」といった内容を示しています。

 一般的な行動禁止指示を示しています。

 「分解してはいけません」といった内容を示しています。

 製品を正しく作動させるための注意事項や、知っていると役に立つ情報を示しています。

2. 安全のために必ずお守りください

ここでは、お客様が「中華まんじゅう蒸し器」を安全にご使用いただき、事故を回避するために守っていただきたい注意事項を記載しています。

ご使用になる前に、必ずこの項目をよくお読みいただき、事故を起こさないために必ずお守りください。

2.1 設置上の注意

警告



本機（卓上、台付）は屋外に設置する場合、雨、雪などがかからない場所で必ず使用してください。雨、雪などにより本機がぬれた場合、感電や故障の恐れがあります。



設置に際しては、食品衛生法を順守してください。違法な設置は、事故発生の原因になります。食品衛生法については最寄りの保健所にご相談ください。



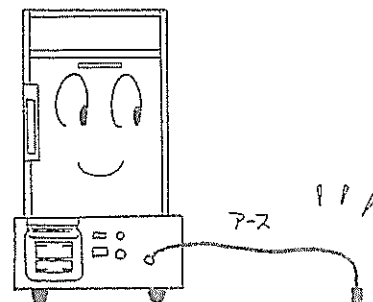
JIS基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、水もれの恐れがあります。



電源プラグは単相100V、電流容量15Aの専用コンセントに接続してください。規格を守らないと感電や火災の原因になります。使用する電源コンセントの規格がわからないときは、サービスステーションに相談してください。



必ずアース線を接続してください。アースが接続されていないと漏電時に感電や火災の原因になります。

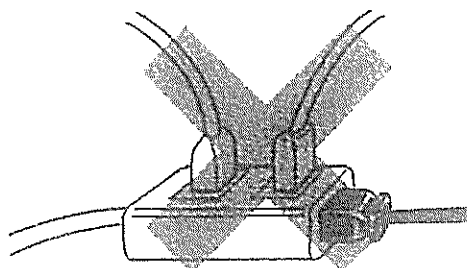




アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース避雷針などに接続しないでください。
感電や火災の恐れがあります。



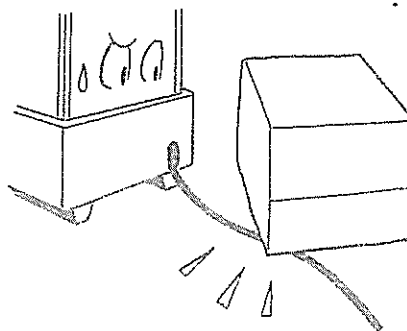
延長ケーブルや、タコ足配線はしないでください。
電線が過熱し火災の原因になります。



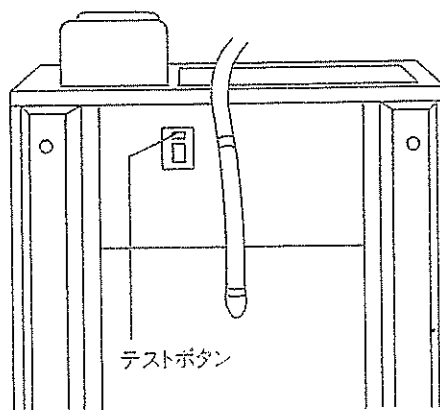
電源コードは束ねた状態で使用しないでください。
火災の原因になります。



電源コードは踏みつけたり、押しつけたり、無理にねじ曲げたりしないでください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
電源コードが破損した場合は、サービスステーションに連絡して交換してください。



漏電遮断器を点検してください。
(本体底部に付いています。)
月に1回程度テストボタンを押して、動作確認を行ってください。
漏電遮断器が「OFF」にならない場合は故障です。
サービスステーションに連絡して交換してください。

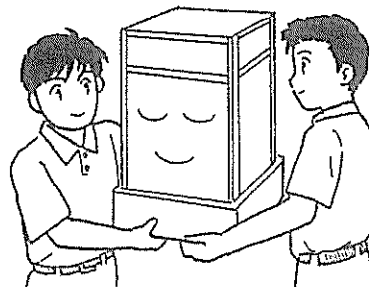


本体底部

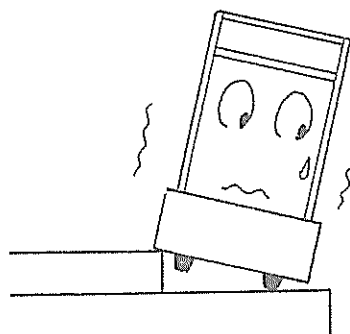
⚠ 注意



運搬は必ず2人以上で行ってください。
1で行うと、本体を落としケガをする恐れがあります。



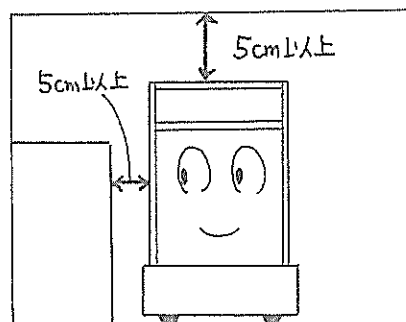
本機は水平で丈夫な場所に設置してください。
本体が転倒し、ケガやヤケドをする恐れがあります。
また、水があふれる恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



設置場所の据付面のガタツキや固定金具のゆるみなどを定期的に点検してください。
不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になります。



本体の上部、側面には5cm以上のスペースを設けてください。
蒸気、熱気によりまわりの製品などに損傷をあたえる恐れがあります。

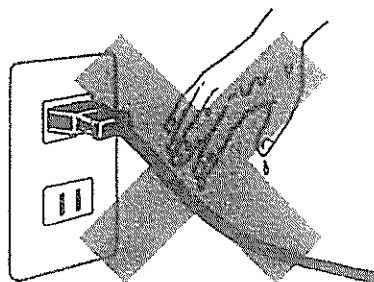


2.2 取扱い上の注意

警告



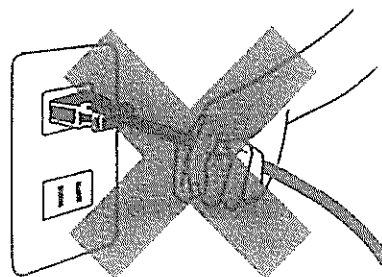
ぬれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の恐れがあります。



ぬれた手でスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが破損し感電や火災の原因になります。
電源コードが破損した場合は、サービスステーションに連絡して交換してください。



電源コードを本体に収納する場合はゆとりを持たせて巻いてください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



本機の照明用コンセントには、照明用プラグ以外は接続しないでください。
本機内部が過熱し、火災の原因になります。



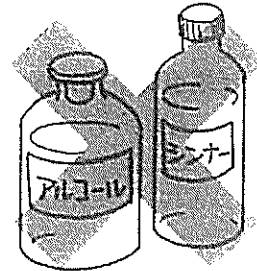
シンナーなどの可燃物や可燃性ガス、揮発性の高いものを製品の近傍で使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。



缶、びんなどの容器入り炭酸飲料は、温めないでください。
容器が破裂し、けがをする恐れがあります。



本機にアルコール、シンナーなどの溶剤・薬剤は絶対に入れないでください
加温時に爆発する恐れがあります。



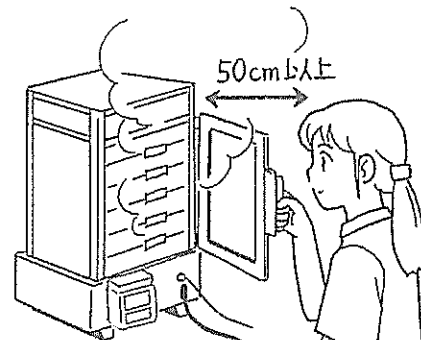
本機に水を入れるときは、まわりにこぼさないようにしてください。
感電事故につながる恐れがあります。
万一、こぼしたときは、すみやかに拭いてください。



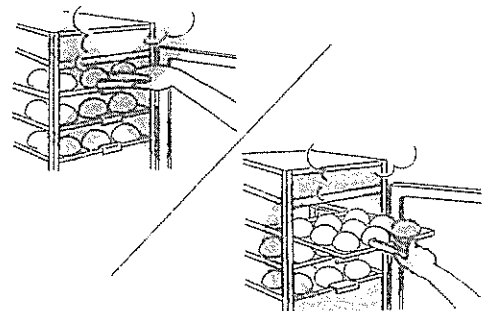
本機に直接お湯を入れないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



加温中・保温中に扉を開けるときは、顔を近づけないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
扉を開けるときの、最初5cm開け蒸気を逃がしてから全開にしてください。
扉を開けるときの50cm以上顔を離してください。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



加温中・保温中は庫内に手をいれないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
まんじゅうの出し入れには必ず専用のトングをお使いください。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。





加温中・保温中は取手、スイッチ以外の場所には触らないでください。

本機が高温になっているのでヤケドをする恐れがあります。

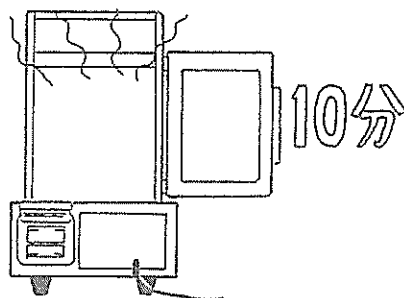
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



庫内のお手入れは本機停止後、扉を開け10分以上待ってから行ってください。

蒸気によりヤケドをする恐れがあります。

万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



排水は本機停止後、40分以上待ってから行ってください。

排水時にヤケドをする恐れがあります。

万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



本機は、水をかけたり、水洗いしたりしないでください。

感電や故障の恐れがあります。



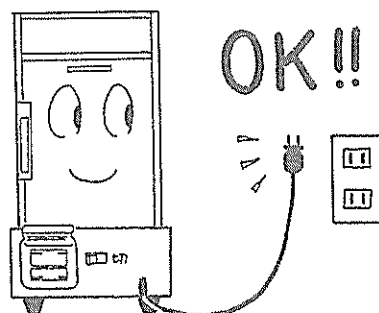
製品内部の電気部品は、雨水や清掃時の水などでぬれないようにしてください。

水でぬれると感電の恐れがあります。



本体の点検、清掃、お手入れをするときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。

漏電により感電の恐れがあります。





下記の場合には、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、サービスステーションに連絡してください。

- ・本体機能部に水などが入った場合
- ・本体が落下したり、損傷した場合
- ・本体から煙が出たり、異臭がする場合

そのまま使用しますと、感電や火災の原因になります。



製品が災害などで水没した場合、電気部品・配線は、必ず新しいものと交換してください。
交換しないと感電、火災の恐れがあります。



本製品は、お客様自身が商品を取り出す「セルフサービス形式」でのご使用はしないでください。取扱い方法を知らないお客様がご使用になると、火傷やケガをする恐れがあります。

注意



指定された商品を収納してください。
指定外の商品を収納すると事故の発生原因になります。



本機の上に他のものを乗せたり、よりかかったりしないでください。
事故の発生原因になります。



取扱説明書などに記載の中身商品以外は、蒸し器に収納しないでください。
事故の発生原因になります。



中身商品は、食品衛生法に従った日常衛生管理をしてください。
不適正な日常衛生管理は、事故の発生原因になります。
食品衛生法については最寄りの保健所にご相談ください。



中華まんじゅうが触れる部分は、食品衛生法に従った日常衛生管理をしてください。
不適正な日常衛生管理は、事故の発生原因になります。



温水タンクおよびその接触部品は、高温になるので触れないでください。
火傷の原因になります。



修理は、専門の修理業者またはお買上先へ依頼してください。
不完全な修理は、感電、火傷、火災、転倒、水もれの原因になります。



漏電遮断器がたびたび作動した場合は、専門の修理業者またはお買上先へ修理を依頼してください。
使用を続けると感電や火災の原因になります。



製品の分解はしないでください。
事故の発生原因になります。



製品の汚れを取るときは、シンナー、ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。
事故の発生原因になります。



製品は取扱説明書に記載した条件で保管してください。
条件外で保管すると事故の発生原因になります。



保管時の製品の積み上げは、3台（120kg）以上にして
しないでください。
転倒事故、けがの原因になります。

3.使用上のご注意

ここでは、お客様が「中華まんじゅう蒸し器」をご使用する際、故障などを起こさないために守っていただきたい注意事項を記載しています。

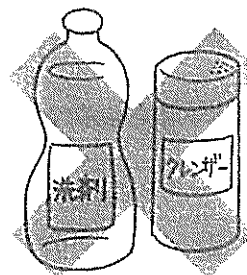
ご使用になる前に、必ずこの項目をよくお読みいただき、必ずお守りください。

- 本機の上にはものを乗せないでください。
故障の原因になります。

- 本機に水道水以外の水は入れないでください。
故障、悪臭などの原因になります。

- 庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。
部品の劣化や蒸気噴出口からお湯があふれでる原因となります。

お湯があふれでるのは、故障ではありません。
あふれた場合は、水の交換をしてください。



- 庫内は1日に1回はお手入れしてください。
故障、悪臭などの原因になります。

- 本機内の水は1日に3回（8時間に1回）以上は交換してください。
悪臭や蒸気噴出口からお湯があふれでる原因となります。

お湯があふれでるのは、故障ではありません。
あふれた場合は、水の交換をしてください。

4.本機の使用目的

⚠ 警告



缶、びんなどの容器入り炭酸飲料は、温めないでください。
容器が破裂し、けがの恐れがあります。

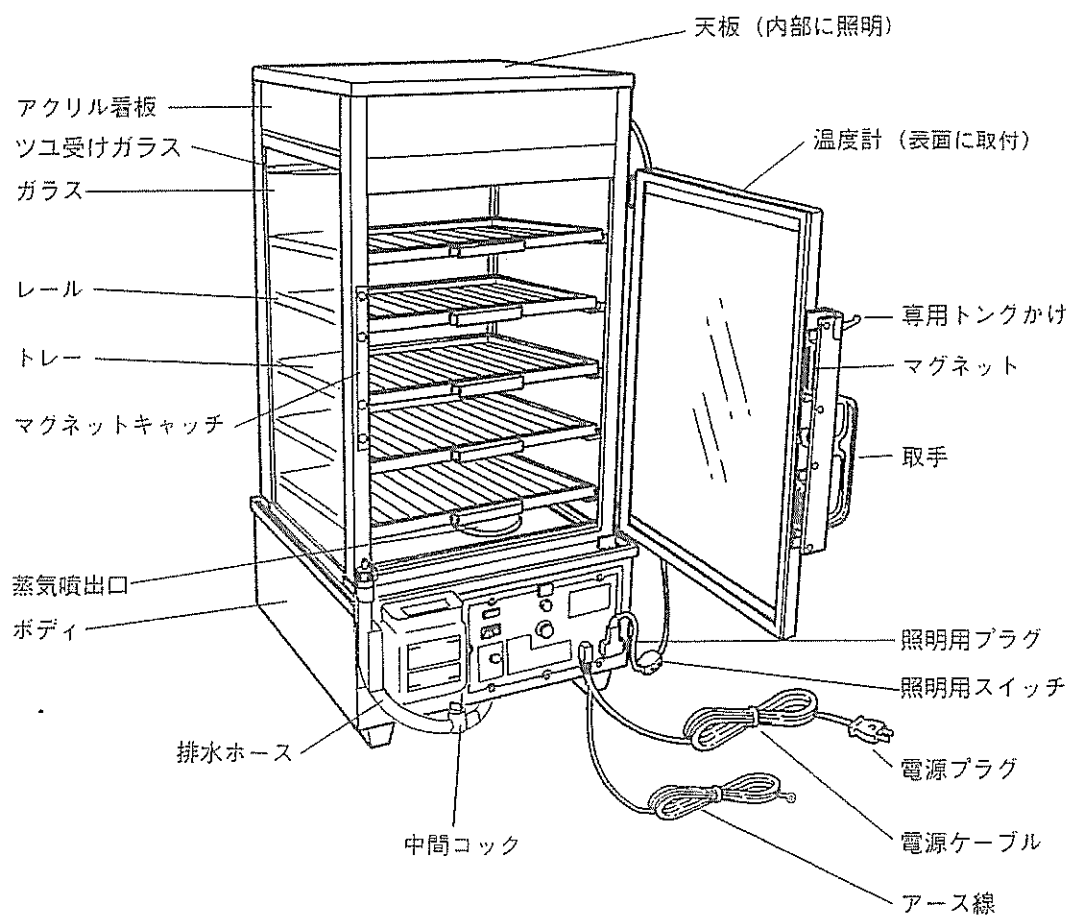


本機にアルコール・シンナーなどの溶剤・薬剤は絶対に入れないでください。
加温時に爆発する恐れがあります。

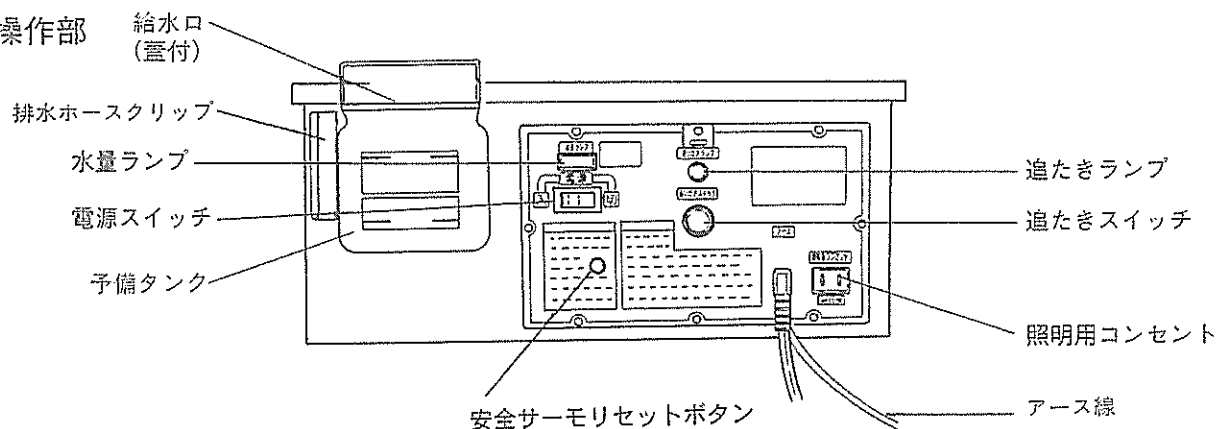
本機は中華まんじゅう専用の蒸し器です。
それ以外の用途には絶対に使用しないでください。

5.各部の名称

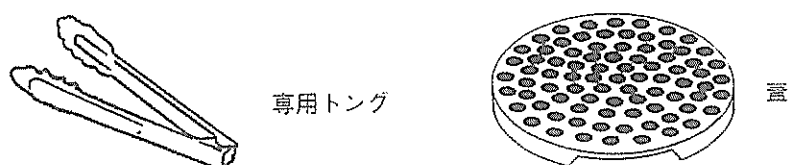
本体



操作部



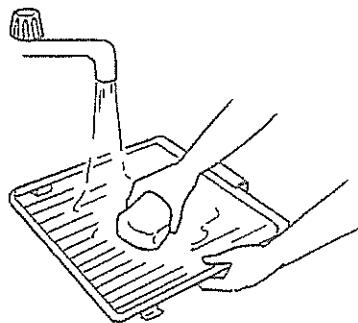
付属品



6. 本機の使用法

6.1 使用前の準備

- ① トレーを本体から取外し水洗いします。



⚠ 注意



製品の汚れを取るときは、シンナー、ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

事故の発生原因になります。

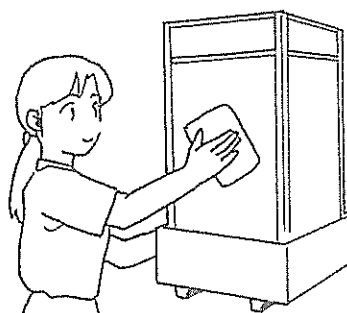
☆ 庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。

部品の劣化や、蒸気噴出口からお湯があふれ、庫内の温度が適温にならなくなります。

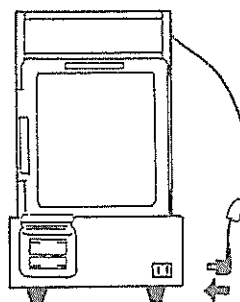
お湯があふれるのは、故障ではありません。

あふれた場合は、水の交換をしてください。

- ② 本機の内・外面を水をしぼったフキンで拭きます。その後、乾いたフキンで空拭きします。



- ③ 本機側面の照明用コンセントに照明用プラグを接続します。



⚠ 警告



本機に水を入れるときは、まわりにこぼさないようにしてください。
感電事故につながる恐れがあります。
万一、こぼしたときは、すみやかに拭いてください。



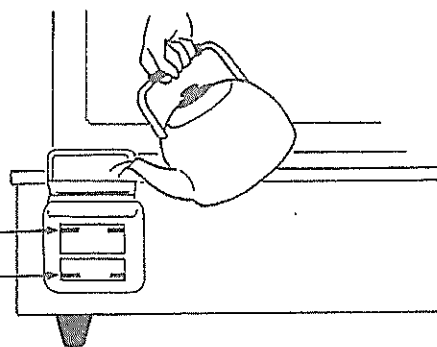
本機に直接お湯を入れないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。

排水ホースの中間コックと排水キャップが閉まっていることを確認してください。

- ④ 予備タンクの給水口の蓋を開け、水道水をやか
ん等で給水してください。
約 5.5ℓ で目盛りシールの「給水量上限ライン」
まで達します。

給水量上限ライン

貯水量下限ライン



⚠ 注意



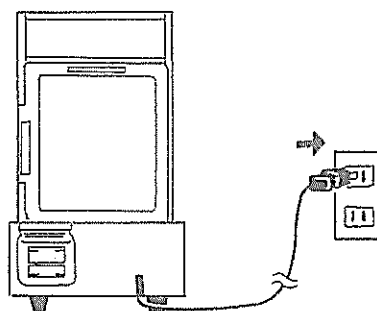
上限ライン以上は給水しないでください。

⚠ 警告

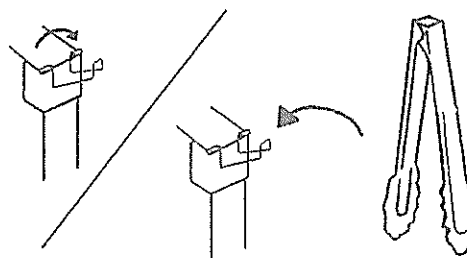


ぬれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の恐れがあります。

- ⑤ 電源プラグを専用コンセントへ接続します。



- ⑥ 専用トングかけを起こし、付属の専用トングをか
けます。



6.2 中華まんじゅうの蒸し方

⚠ 警告

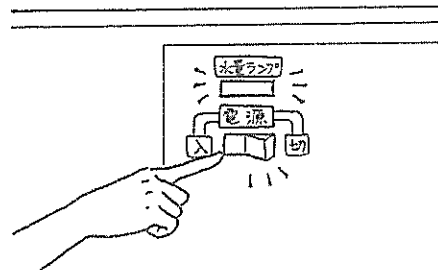


加温中・保温中に扉を開けるときは、顔を近づけないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
扉を開けるときは、最初5cm開け蒸気を逃がしてから全開にしてください。
扉を開けるときは50cm以上顔を離してください。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。

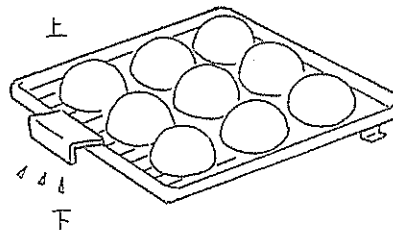


加温中・保温中は庫内に手をいれないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
まんじゅうの出し入れには必ず専用のトングをお使いください。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。

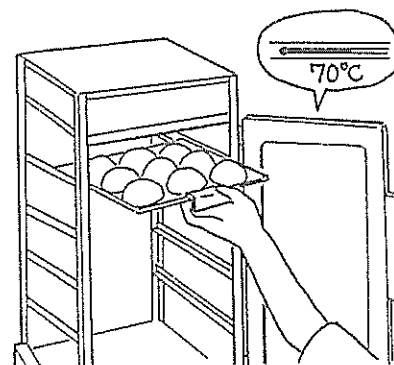
- ① 本機の電源スイッチを「入」にします。
☆ このとき電源スイッチと水量ランプが点灯します。
☆ 本機の扉が閉まっていることを確認してください。



- ② 水洗いしたトレーに中華まんじゅうを並べます
(1つのトレーには9個まで乗せられます)。
☆ トレーには上下があります。
☆ 中華まんじゅうを並べるときは重ねたり、トレーからはみ出るように置いたりしないでください。



- ③ 本機の温度計が70℃になったら中華まんじゅうを乗せたトレーを入れます。
☆ 電源を入れてから約20～30分で70℃になります。
☆ トレーのツメを確実にレールに差し込んでください。



蒸し時間

冷凍の中華まん 約 40分

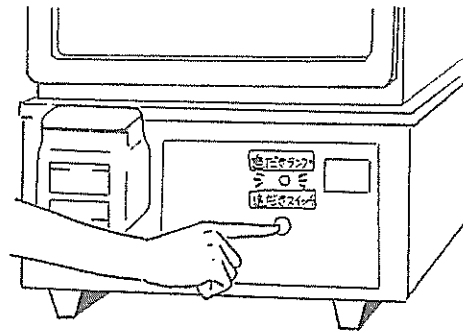
④ 追たきスイッチを押します。

☆ このとき追たきランプが点灯します。

☆ 追たきスイッチを押すことにより、庫内温度が高温まで達して、中華まんじゅうを蒸しあげます。

☆ 追いたきスイッチは所定の温度に達すると自動的にオフになり、保温に切替わります。

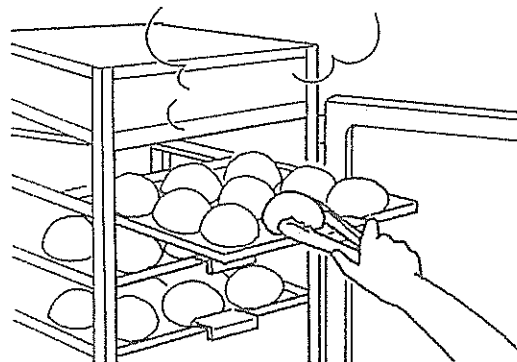
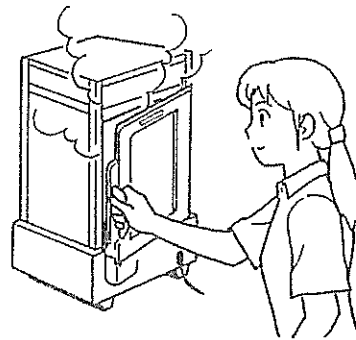
☆ 追たきの途中で追たきを解除したいときは、電源スイッチを1度切り、あらためて「入」にしてください。



⑤ 蒸し上がった中華まんじゅうを取り出します。

☆ 扉を開けるときは、最初5cm開け蒸気を逃がしてから全開にしてください。

☆ 専用のトングを使用してトレーを2/3外に引き出してから中華まんじゅうを取り出してください。



⚠ 警告



本製品は、お客様自身が商品を取り出す「セルフサービス形式」でのご使用はしないでください。取扱い方法を知らないお客様がご使用になると、火傷やケガをする恐れがあります。

6.3 中華まんじゅうの補給

①本体からトレーを取外します。

☆トレーを取り出すときはフキンなどを使用してください。

②本体から取外したトレーを水洗いします。

☆中性洗剤などは絶対に使用しないでください。

部品の劣化や蒸気噴出口からお湯があふれる原因となります。

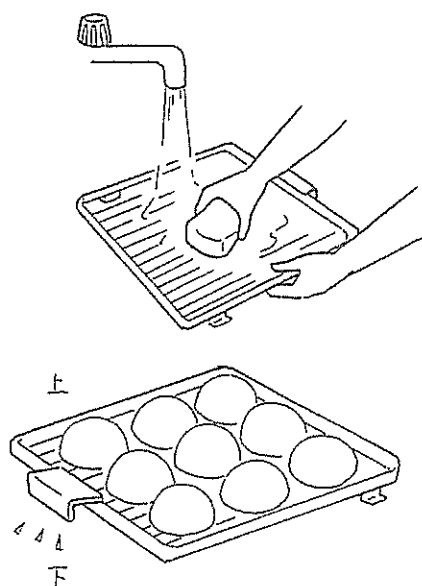
③水洗いしたトレーに中華まんじゅうを並べます
(1つのトレーには9個までのせられます)。

☆トレーには上下があります。

☆中華まんじゅうを並べるときは重ねたり、トレーからはみ出るように置いたりしないでください。

☆新しく補充した中華まんじゅうを乗せたトレーは、本機上段へセットします。

☆中華まんじゅうは先に入れたものから取り出すようにしてください。



6.4 水の補給

⚠ 警告



本機に水を入れるときは、まわりにこぼさないようにしてください。

感電事故につながる恐れがあります。

万一、こぼしたときは、すみやかに拭いてください。

①使用中に水量が「貯水量下限ライン」に近づいた時、または水量ランプが消灯した時は、予備タンク給水口の蓋を開け「給水量上限ライン」まで水道水をやかん等で給水してください。

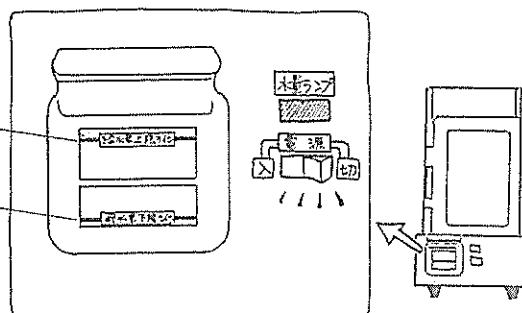
☆水が無くなると自動的に水量ランプが消え、ヒーターの通電が止まります。

☆水を入れた場合、追たきスイッチを押します。
(庫内の温度が約90℃になると自動的に追たきスイッチが切れ保温状態になります。)

☆追たきの途中で追たきを解除したいときは、電源スイッチを一度切り、あらためて「入」にしてください。

給水量上限ライン

貯水量下限ライン



7. 本機のお手入れ

7.1 水の交換

まんじゅうの脂分などが蒸気に混ざって本機タンク内に入り中の水を汚してしまうため、8時間に1回は水の交換を行ってください。また、蒸気噴出口からお湯があふれでたときも水の交換を行ってください。

お湯があふれるのは、故障ではありません。あふれでた場合は、水の交換をしてください。

⚠ 警告



本体の点検、清掃、お手入れをするときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
漏電により感電の恐れがあります。



排水は本機停止後、40分以上待ってから行ってください。
排水時にヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



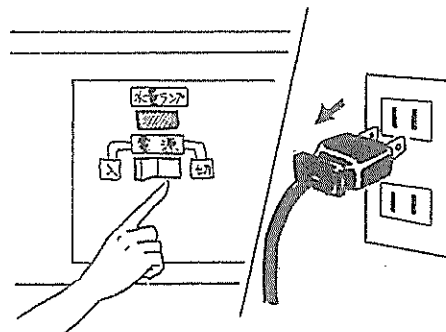
排水時に熱湯がでます。
排水方法を順守しないとヤケドをする恐れがあります。



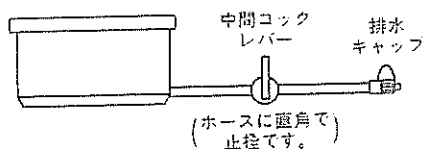
ぬれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の原因になります。

☆ポリバケツ（容量6リットル以上のもの）を用意してください。

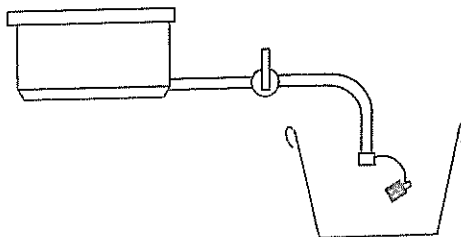
①電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



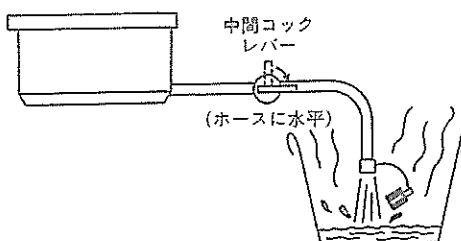
- ② 中間コックが締まっていることを確認してください。



- ③ 先端の排水キャップを外してポリバケツに入れてください。



- ④ 中間コックレバーを開栓(レバーをホースに水平にする)すると排水します。



☆ 排水ホースの亀裂、ヒビ割れ等御使用時には必ず点検を行ってください。

☆ 水の交換時には、蒸気噴出口「蓋」も水洗いしてください。

7.2 再び使用する場合

⚠ 警告



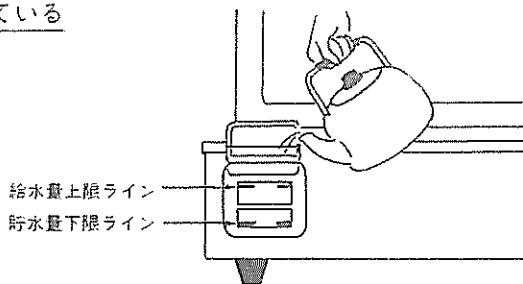
本機に水を入れるときは、まわりにこぼさないようにしてください。
感電事故につながる恐れがあります。
万一、こぼしたときは、すみやかに拭いてください。



本機に直接お湯を入れないでください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。

排水ホースの中間コックと排水キャップが閉まっていることを確認してください。

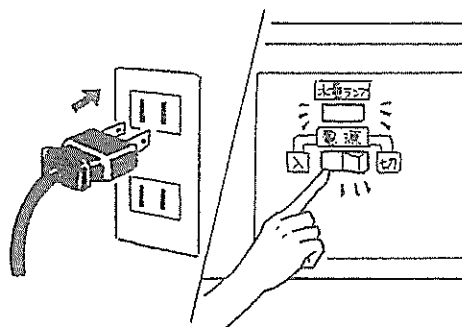
- ① 予備タンクの給水口の蓋を開け、水道水をやかん等で給水してください。
約5.5ℓで目盛りシールの「給水量上限ライン」まで達します。



⚠ 注意

- ⊘ 上限ライン以上は給水しないでください。

- ② 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。



7.3 庫内のお手入れ

庫内を清潔に保つため、1日に1回は庫内のお手入れを行ってください。

⚠ 警告

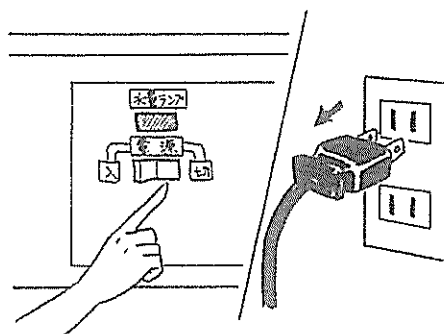
- ⚡ 本体の点検、清掃、お手入れをするときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
漏電により感電の恐れがあります。
- 🔥 庫内のお手入れは本機停止後、扉を開け10分以上待ってから行ってください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。
- ⚡ めれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の原因になります。

☆庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。

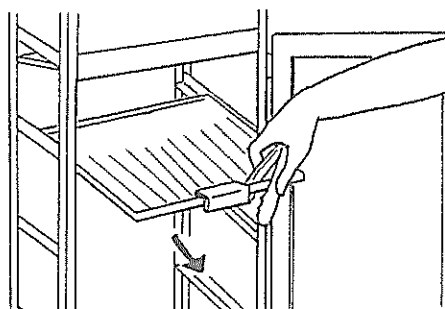
部品の劣化や蒸気噴出口からお湯があふれる原因となります。

お湯があふれるのは、故障ではありません。
あふれた場合は、水の交換をしてください。

- ① 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

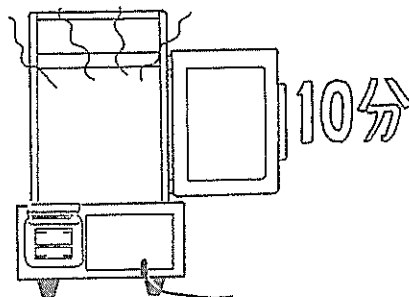


②扉を開け、専用のトングを使いトレーを全て取り外します。

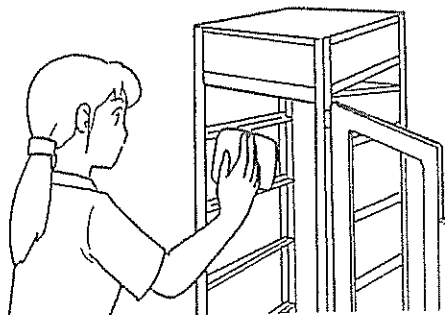


③本体から取外したトレーを水洗いします。

④扉を開けたまま10分以上放置して、庫内の温度を下げます。



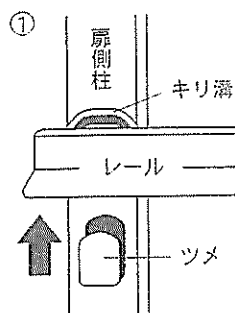
⑤水をしぼったフキンで庫内を拭きます。



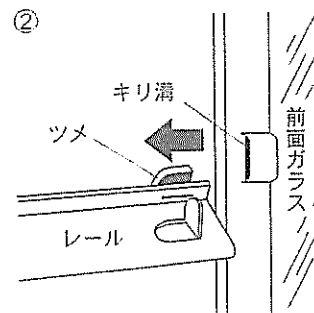
⑥取り外したトレーを全て本機内に戻します。

7.4 「引出し皿用レール」のはずし方

①扉側柱のレールを上方に引き上げ、柱のツメとレールのキリ溝を外します。



②レールを手前側に引き、前面ガラス側柱のキリ溝とレールのツメを外します。

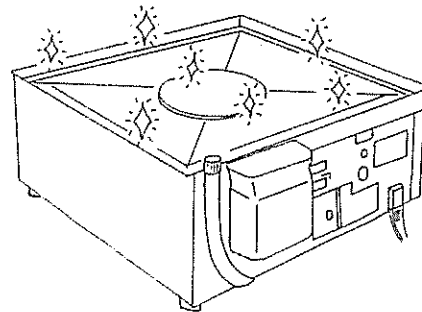


■「引出し皿用レール」の取付け方
外し方の②→①の順序で取付けます。
(注) レールは右用、左用があります。

⚠ 注意 庫内ステンレス部の清掃

庫内ステンレス部は特に念入に清掃してください。

中華まんじゅうの肉汁や塩分が庫内ステンレス部に落下し、清掃を怠ると腐食（穴あき）の原因となります。必ず毎日水でしぼったフキンで拭いてください。



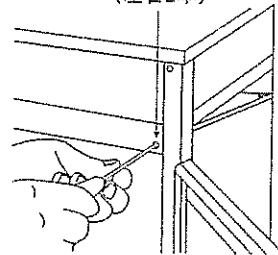
7.5 「ツユ受ガラス」のはずし方

①後面の扉を開けて、取付ネジ（左右2本）を＋ドライバーで外します。
（注）ネジを紛失しないよう注意してください。

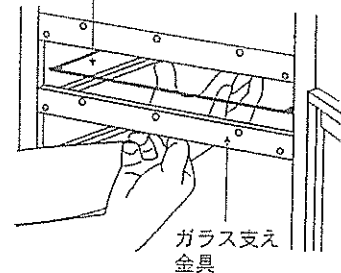
②内部のガラス支え金具を静かに取り外します。
ツユ受ガラスが下方に降りてきますので、手で支えながら受け止めます。

③ツユ受ガラスを静かに手前へ引き出します。
（注）ガラススペーサーを紛失しないよう注意してください。

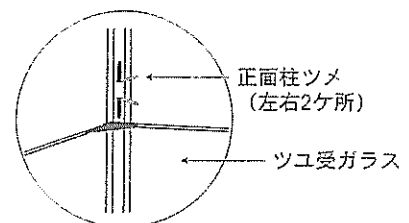
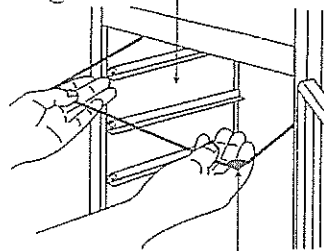
① ガラス支え金具取付ネジ（左右2本）



② ツユ受ガラス



③ ツユ受ガラス



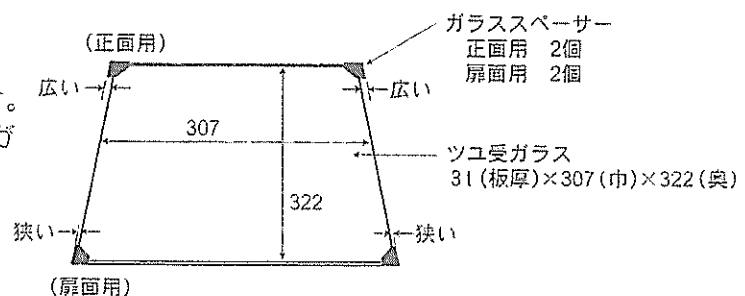
正面柱ツメ（左右2ヶ所）からツユ受ガラスが外れます。

■ 「ツユ受ガラス」の取付け方

外し方の③→①の順序で取付けます。

取付け時の注意

- ◎ツユ受ガラスは、（巾）（奥）寸法が違います。
- ◎ガラススペーサーは、（正面用）（扉面用）があります。



7.6 安全サーモについて

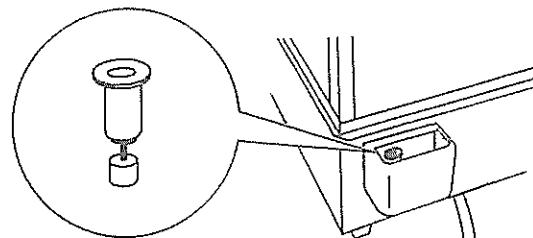
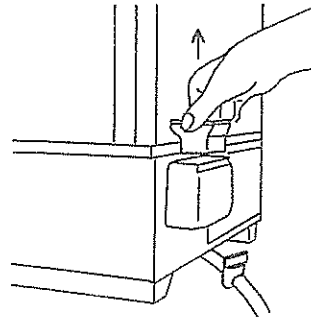
汚れた水や異物が水位センサー（フロートスイッチ）の作動を妨げると、ヒーターが空だきとなり、安全サーモが動作（OFF）する場合があります。

動作した場合の現象

電源スイッチのランプが消え、ヒーターの通電がとまります。（温まらない）

① 水位センサー（フロートスイッチ）の清掃

- 給水口を予備タンクから取り外してください。
- 予備タンクの中の水位センサーのフロート部分に、異物がないか確認してください。
- 異物を取り除き、きれいな水を注水して、清掃してください。



フロートスイッチ

⚠ 警告

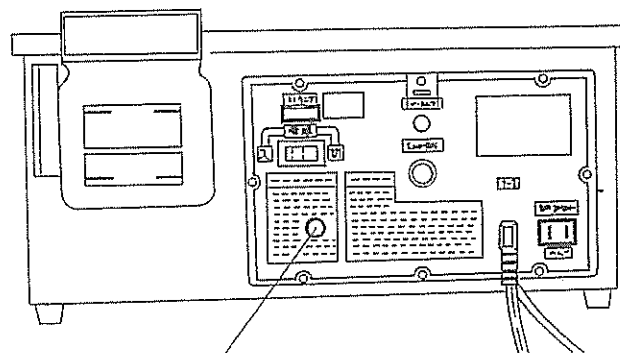


電源コードをコンセントから抜き、作業をはじめてください。
感電の恐れがあります。

② 安全サーモのリセット

- 機械を冷まして、適水量の水を給水してからパネル板のリセット
- ボタンを押してください。

リセット（復帰）されると
電源スイッチのランプが点灯して、ヒーターへの通電が開始されます。



安全サーモリセットボタン

⚠ 注意



ヤケドをする恐れがありますので、機械が冷えてから作業してください。

8. ご使用にならないとき

休日などで本機の使用を停止する場合は、以下の手順で実施してください。

⚠ 警告



本体の点検、清掃、お手入れをするときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。
漏電により感電の恐れがあります。



庫内のお手入れは本機停止後、扉を開け10分以上待ってから行ってください。
蒸気によりヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



排水は本機停止後、40分以上待ってから行ってください。
排水時にヤケドをする恐れがあります。
万一、ヤケドをした場合は冷水で患部を冷やし、医師の診断を受けてください。



ぬれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の原因になります。

⚠ 注意



製品の汚れを取るときは、シンナー、ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。
事故の発生原因になります。

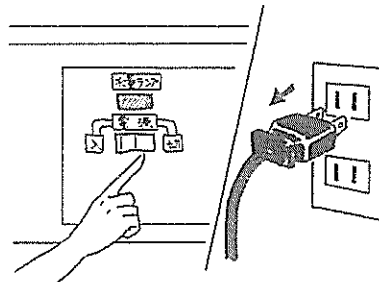
☆庫内のお手入れの際は、中性洗剤などは絶対に使用しないでください。

部品の劣化や蒸気噴出口からお湯があふれる原因となります。

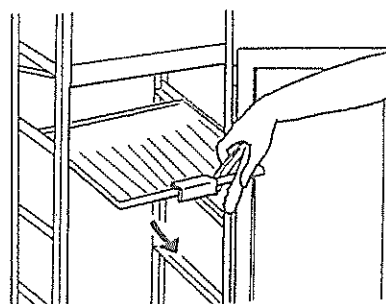
お湯があふれるのは、故障ではありません。

あふれた場合は、水の交換をしてください。

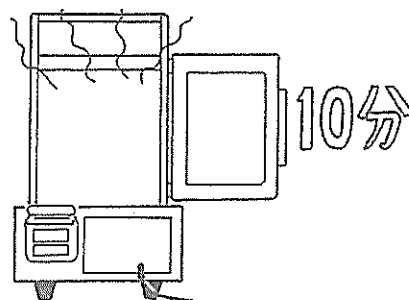
①電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから外します。



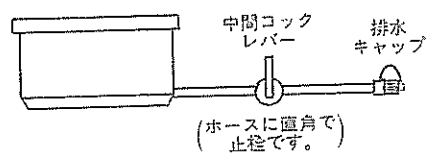
- ②扉を開け、専用のトングを使いトレーを全て取り外します。



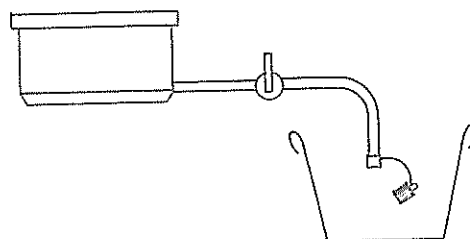
- ③扉を開けたまま10分以上放置して、庫内の温度を下げます。



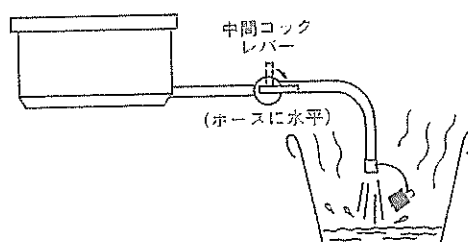
- ④中間コックが締まっていることを確認してください。



- ⑤先端の排水キャップを外してポリバケツに入れてください。

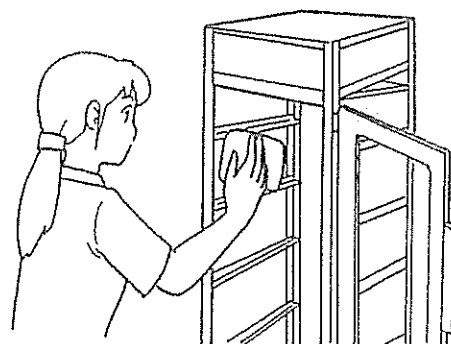


- ⑥ 中間コックレバーを開栓(レバーをホースに水平にする)すると排水します。



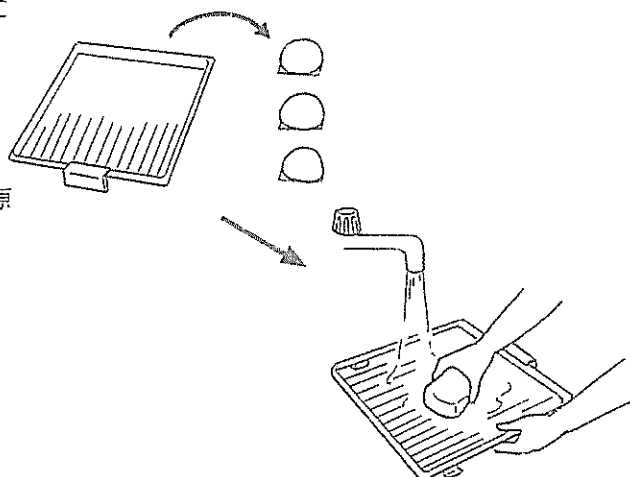
☆排水ホースの亀裂、ヒビ割れ等御使用時には必ず点検を行ってください。

⑦水をしぼったフキンで庫内を拭きます。



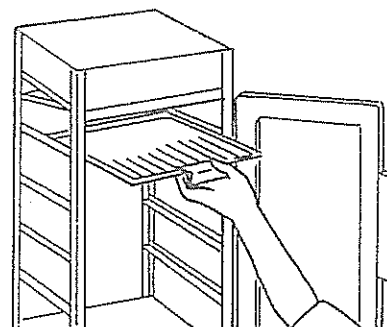
⑧中華まんじゅうを取り除きトレーを洗い、乾いた布で拭きます。

☆中性洗剤などは絶対に使用しないでください。
部品の劣化や蒸気噴出口からお湯があふれる原因となります。



⑨トレーを庫内にしまいます。

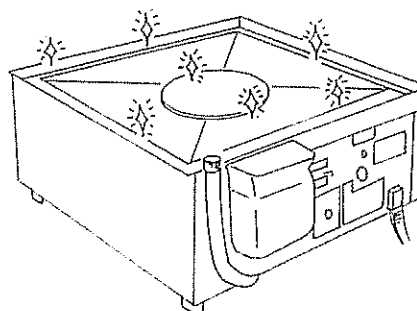
☆お手入れ時には蒸気噴出口「蓋」も水洗いしてください。



⚠ 注意 庫内ステンレス部の清掃

庫内ステンレス部は特に念入に清掃してください。

中華まんじゅうの肉汁や塩分が庫内ステンレス部に落下し、清掃を怠ると腐食（穴あき）の原因となります。
必ず毎日水でしぼったフキンで拭いてください。



9. 本機の保管方法

①「8.ご使用にならないとき」の手順を行います。

⚠ 警告

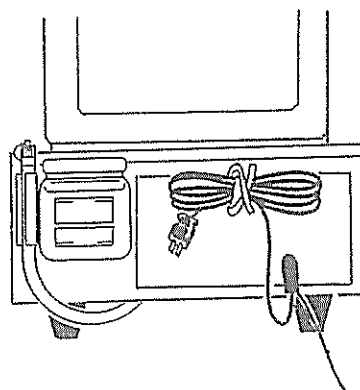


電源コードを本体に収納する場合はゆとりを持たせて巻いてください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

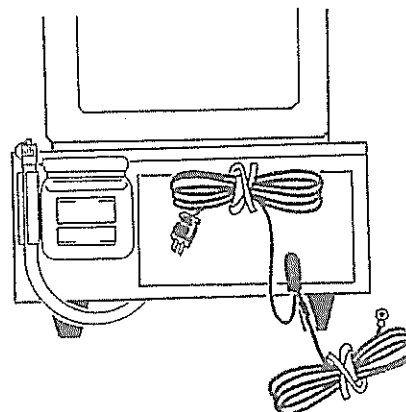


ぬれた手で電源プラグには触らないでください。
感電の原因になります。

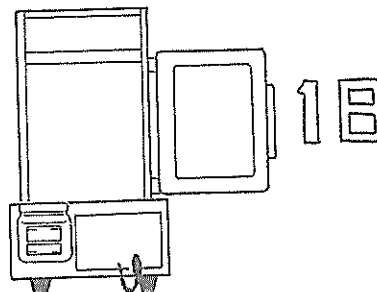
②電源コードを束ね本体に取り付けます。



③アース線を取り外し、束ねます。



④本機の扉を開放したまま1日放置し庫内を乾燥させます。

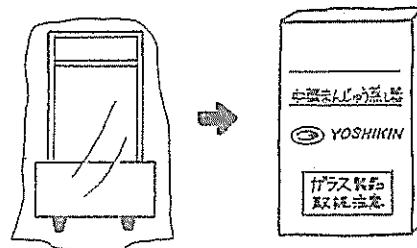


⚠ 注意



保管時の製品の積み上げは、3台（120kg）以上にしないでください。
転倒事故、けがの原因になります。

- ⑤ 本機をポリ袋に収め段ボールで梱包し、湿気の少ない場所に保管します。



10. 修理を依頼される前に

⚠ 警告



下記の場合には、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、販売店またはサービスステーションに連絡してください。

- ・本体機能部に水などが入った場合
- ・本体が落下したり、損傷した場合
- ・本体から煙が出たり、異臭がする場合

そのまま使用しますと、感電や火災の原因になります。

症状とその対処方法

症 状	原 因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを差し込んでください。
	配電盤のヒューズまたはブレーカーが切れていませんか。	販売店・電気工事店またはサービスステーションに連絡してください。
	漏電遮断器（本体底部）が「OFF」になっていませんか。（4ページ）	漏電遮断器を「ON」にしてください。
電源を入れても蒸気が出ない	給水量が充分ですか。（18ページ）	給水口から水を入れてください。
	安全サーモが作動していませんか。（24ページ）	安全サーモをリセットしてください。
庫内温度が70℃まで上がらない	扉が開いていませんか。	扉を閉めてください。
	蒸気噴出口からお湯があふれてませんか。	本機のお手入れをしてください（20ページ）「7.本機のお手入れ」を参照してください。
	立ち上がり時間（20～30分）が不足していませんか。	しばらくお待ちください。（20～30分）
水が漏る	本機が傾いていませんか。	左記の事項を確認してもだめな場合は、販売店またはサービスステーションに連絡してください。
	給水量が多すぎませんか。	
	給水時、水をこぼしませんでしたか。	
	排水ホースのキャップはしっかり締まっていますか。	

以上のことを調べても不明な場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはサービスステーションに連絡してください。

11. サービスステーション「(株) ヨシキン サービスステーション」

下記にて全国のアフターサービスを受付けます

東京都大田区京浜島2-12-20

株式会社 ヨシキン サービス

(TEL) 03-3790-0619

14. 本機の仕様

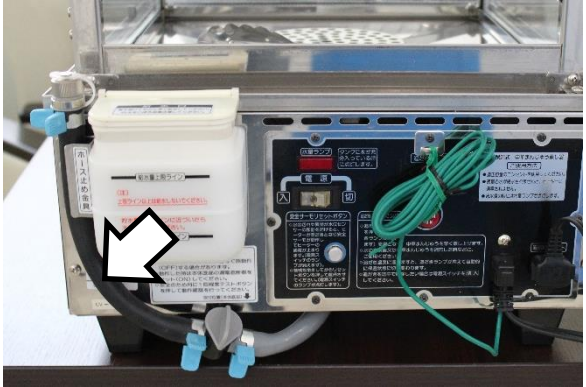
機 種	SME-
電 源 電 圧	単相100V
定 格 消 費 電 力	970W(プレートヒーター485W、バンドヒーター485W)
照 明	30Wサークライン (436は10W直管)
使用環境条件	温度 10～30℃ 湿度 50%～60%
温度調節方式	固定温度式
使 用 水	一般飲料用水道水
安 全 装 置	ハイリミットサーモ135℃
タンク総容量	6.0リットル
蒸気発生タンク	1.2リットル
予 備 タ ン ク	4.8リットル
給 水 警 告	ランプによる警告

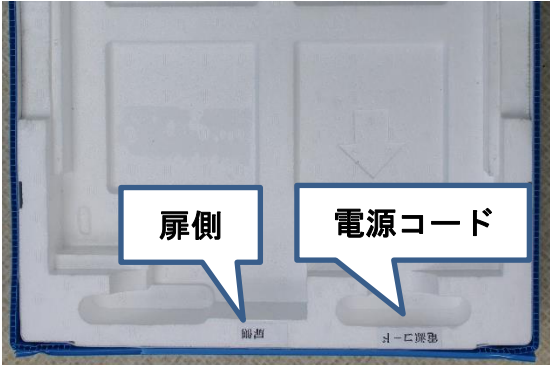
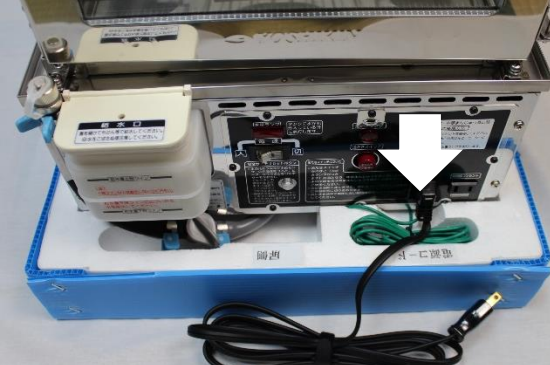
寸法・容量・重量

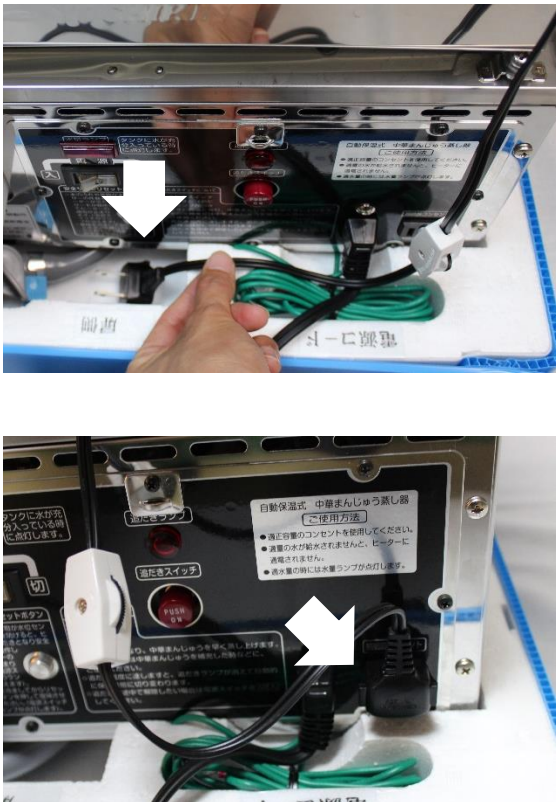
SME-436	寸法	卓上:W380×D430×H687／台付:W449×D452×H1386
	容量	42リットル 36ヶ入
	重量	卓上:22.1 kg／台付:33.5kg (梱包時 卓上:24.1 kg／台付:35.9kg)
SME-545	寸法	卓上:W380×D430×H768／台付:W449×D452×H1466
	容量	50リットル 45ヶ入
	重量	卓上:24.6kg／台付:36.0kg (梱包時 卓上:26.6kg／台付:38.4kg)
SME-654	寸法	卓上:W380×D430×H768／台付:W449×D452×H1466
	容量	50リットル 54ヶ入
	重量	卓上:25.1 kg／台付:36.5kg (梱包時 卓上:27.1 kg／台付:38.9kg)
SME-560	寸法	卓上:W485×D430×H768／台付:W533×D453×H1490
	容量	80リットル 60ヶ入
	重量	卓上:28.5kg／台付:41.6 kg (梱包時 卓上:30.5kg／台付:44.0kg)
設 置 台	重量	436用:11.9 kg／560用:12.7kg (梱包時 436用:14.5 kg／560用:15.3kg)
ダンボール	重量	卓上:2kg／台付:2.4kg
ト レ ー	重量	0.3kg／1 枚
レ ー ル	重量	0.1kg／1 本

【中華まん蒸し器】

返却時の梱包手順

①		• 本体タンクの水を抜きます。 排水ホースを本体から外してください。
②	 閉まっている状態	• 必ず中間コックが閉まっていることを確認してください。
③		• 排水キャップを開けてから、ホースの先をバケツの中に入れてください。 中間コックを閉めずに、排水キャップを開けてしまうと、熱湯が手にかかる恐れがあります。やけどに注意してください。

④	 開いている状態	• 中間コックを開けてください。
⑤		• 備品のトングと蓋を本体の一番下に入れてください。 
⑥		• 底箱の【扉側】【電源コード】のシールを確認して、本体を底箱の中に入れてください。
⑦		• アース線を下箱のくぼみの中に入れてください。

⑧		• 本体照明用プラグを、下箱の空いているスペースに入れてください。 もしくは、本体のコンセントに差し込んでください。
⑨		• まとめたコードを下箱のウレタンの上に乗せてください。
⑩		• 取扱説明書を本体の上にのせてください。

⑪		• 上箱を被せてください。 コードを挟まないように気を付けて上箱を被せてください。
⑫		• PP バンドを 2 本とめてください。 PP バンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。
	<p>▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。</p> <div data-bbox="277 1126 970 1290" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>お届け時の伝票の下にある赤い伝票が 返却用の伝票です。</p> </div> <div data-bbox="976 1059 1417 1299" data-kind="parent" data-rs="2">  </div>	

梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



つくった輪をストッパーに通す。

③



④



⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。

※手順を参考にしても分からない場合は、**緊急連絡先**（080-5643-7181）にご連絡ください。